

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (6)文化芸術の振興と文化交流の促進

(評価担当者)

生活文化部長 佐久間 利夫

基本施策が目指す姿

市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で心豊かに生活しています。

関連する分野別計画

亀山市文化振興ビジョン

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	亀山市芸術文化協会の団体数	団体	47	H27	43	40				50
2	亀山市芸術文化協会の会員数	人	728	H27	637	616				750
3	文化会館自主文化事業にかかる入場者数	人	16,746	H27	16,508	14,496				17,600
4	市主催等の公募展への出演・出展者数	人	2,341	H27	1,515	1,100				2,500
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 芸術や文化に関わる機会が充実している	重要度	0.69	0.63	これまでにも様々な文化事業を展開することにより芸術や文化の振興を図ってきたが、市民の意識はあまり高まっておらず、満足度も前回より下がっていることから、かめやま文化年2020などで広く市民に意識が浸透するよう取り組みを強化する必要がある。
	満足度	0.56	0.64	
2	重要度			
	満足度			
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	市の文化振興を推進するために新しく文化振興基金を設置したほか、文化の拠点施設である文化会館においては、継続的に自主事業が開催されたり、市民参加型の文化活動が展開された。また、施設面でも大ホールの空調設備の大規模改修を行うことで市民の利用環境の向上を図るなど、事業を順調に進めることができた。その一方で、亀山市芸術文化協会については、会員の高齢化や組織に属さず活動する人が増えてきた影響もあり、所属する団体数・会員数が減少するなど、成果指標に掲げる数値が下降していることから、総合判定をBとした。

反省点・課題

かめやま文化年2017の検証を行い、多くの市民や様々な分野の市民活動団体などが積極的に文化活動に関わる機会が創出され、新たな価値の創出や各関係団体どうしの交流などにつながる事ができた一方で、事業などを検討する部会などの実施体制について改善を要することや、事業の計画決定の時期、あるいは市民参画の手法等について再検討を要する課題が見つかった。また、亀山市芸術文化協会の団体数・会員数ともに減少するなど、市民レベルの活動が目に見える形で広がっていないので、文化芸術に対する市民の活動意欲をさらに高めるよう取り組む必要がある。

今後の展開方針

かめやま文化年の最終年となるかめやま文化年2020に向けては、これまでの文化年事業の検証を踏まえて、次期文化年プロジェクトの実施計画を早期に取りまとめるとともに、計画的な事業スケジュールの検討、情報発信の拡充、文化交流の促進、市民参画の拡充などに努め、次回の文化年開催に向けて段階的に機運を盛り上げるよう努める。また、市の文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する足掛かりとなる文化基本条例の制定に向けて取り組む。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		文化政策の推進				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	かめやま文化年2017では、「お茶・紅茶」「ローソク」といった地域資源に焦点をあてた事業を実施した。文化会館を基点として、地域へのアウトリーチや市民ミュージカルなどの事業が展開された。「歴史的風致のまちづくり」プロジェクトの推進により、街道、宿場、城下町、伝統行事などの歴史資源の保存や整備事業を行った。	評価	歴史資源や自然資源の保存整備により、魅力あるまちづくりが進んだ。また文化年事業を中心に、地場産業と文化を結び付けたり、文化会館を基点とした市民向け音楽活動や市民ミュージカル、子ども能の育成など、新たな文化資源の創造に取り組むなど、文化振興ビジョンにたざした文化政策の推進が図れた。		
				まずまず進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	1,000 / 810	A	B
				/		
事業以外の取組		内容			活動	成果

施策の方向		文化交流の促進				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	かめやま文化年事業は、「つながる」をキーワードとして、交流・継承・人材育成の視点を踏まえたかめやま文化年2017を1年を通じて実施した。また文化会館の指定管理者でもある地域社会振興会を支援し、文化会館による各種事業がスムーズに展開された。	評価	かめやま文化年2017では、岡山県高梁市との文化交流や全国から若手アーティストが集う亀山トリエンナーレなど、「つながる」を意識して各事業に取り組み、異なる文化や地域間交流を深めるとともに、様々な各種団体の参画と連携を進めたことにより、文化交流の促進が図れた。		
				順調に進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	1,000 / 810	A	B
	2010	地域社会振興会運営事業	標	29,788 / 28,885	A	A
事業以外の取組		内容			活動	成果

施策の方向		文化の拠点づくり				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	文化会館の大規模改修事業として不具合のあった大ホール空調設備の改修工事を実施した。また、文化会館が中心となってアウトリーチ事業、市民ミュージカル事業等が実施された。	評価	工事の完了により、文化の拠点としての文化会館の施設整備を進めることができた。文化会館においては、継続的に自主事業を開催するとともに、文化年事業に関連して市民参加型の活動が広く展開された。		
				順調に進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17057	文化会館等大規模改修事業	主	28,512 / 28,512	A	A
	19078	施設整備費(文化会館費)	標	680 / 562	A	A
事業以外の取組		内容			活動	成果
		文化会館における自主事業の実施			A	A

施策の方向		文化芸術活動の活性化				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	市芸術展をはじめ、俳句会・川柳会を開催し、また亀山市芸術文化協会や文化会館との連携により、協会の自主事業や文化会館フェスタが開催された。また文化会館における合唱指導やプロの演奏家のアウトリーチが市内各小中学校に対して実施された。	評価	様々な活動成果を発表する機会により、市民の活動意欲が向上した。また、芸術文化協会を中心とした各関係団体や子どもたちに向けた文化活動により、文化芸術の人材育成並びに市民の自主的な文化芸術活動の推進が図れた。		
				まずまず進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19074	一般事業(文化振興事業)	標	1,799 / 1,477	A	B
	19076	市展開催費	標	2,831 / 2,451	B	B
事業以外の取組		内容			活動	成果